

背景・課題

◆ 2014年9月の御嶽山の噴火等を踏まえ、火山研究の推進及び人材育成・確保が求められているが、既存の火山研究は「観測」研究が主流であり、防災・減災に資する「観測・予測・対策」の一体的な火山研究が不十分。それに加え、火山研究者は約80人と少数。

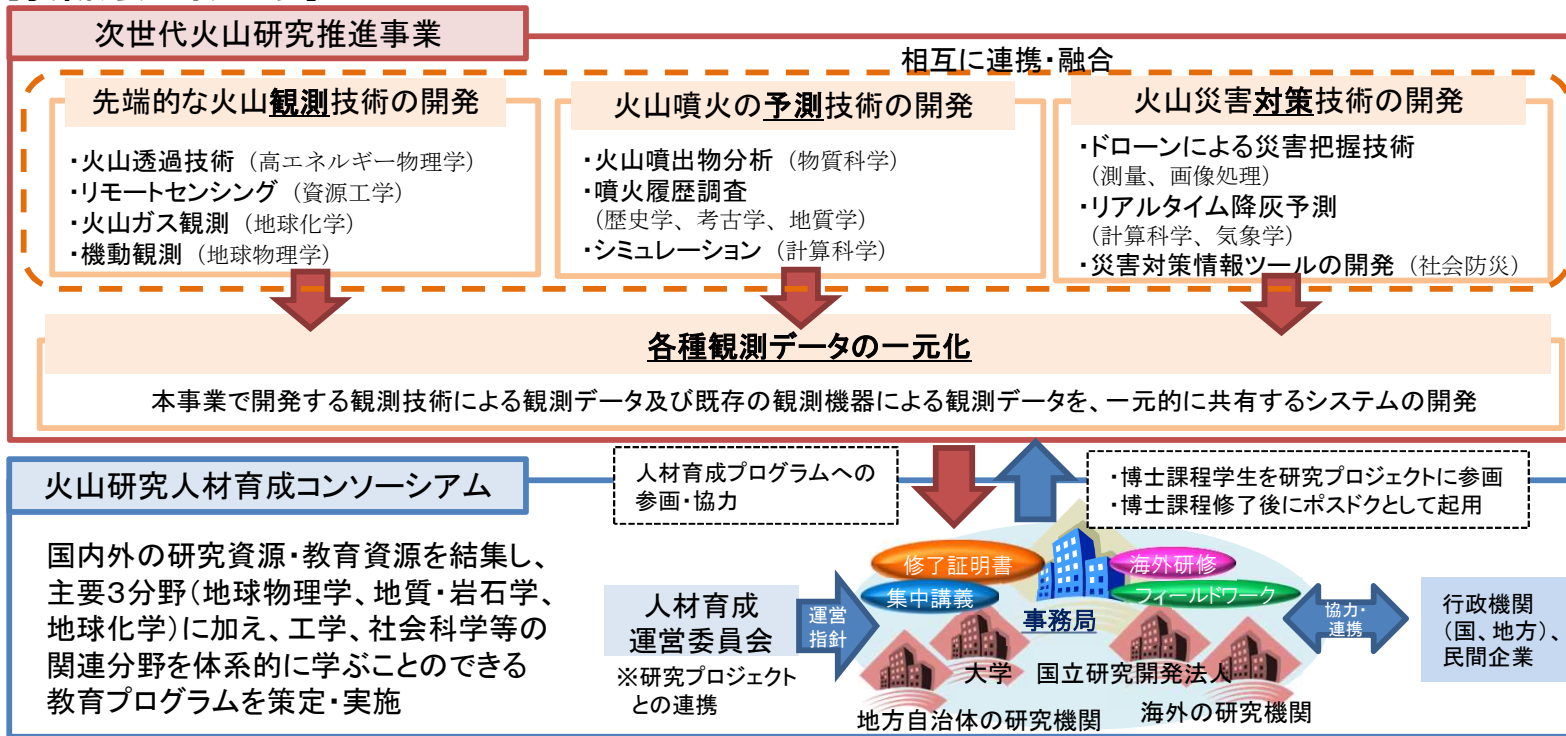
- プロジェクトリーダーの強力なリーダーシップの下、他分野との連携・融合を図り、「観測・予測・対策」の一体的な研究を推進。
 ・「火山研究人材育成コンソーシアム」を構築し、大学間連携を強化するとともに、最先端の火山研究と連携させた体系的な教育プログラムを提供。

事業概要

【事業の目的・目標】

- ✓ 「観測・予測・対策」の一体的な火山研究の推進
 - ・直面する火山災害への対応(災害状況をリアルタイムで把握し、活動の推移予測を提示)
 - ・火山噴火の発生確率を提示
- ✓ 理学にとどまらず工学・社会科学等の広範な知識と高度な技能を有する火山研究者の育成・確保
 - ・事業開始から5年間で80人→160人の確保

【事業概要・イメージ】



【事業スキーム】

- ✓ 委託先機関: 大学、国立研究開発法人等
- ✓ 事業期間: 2016年度～2025年度



【これまでの成果】

● 火山研究人材育成コンソーシアム

- ✓ 参画機関 (2018年10月時点)

代表機関: 東北大
 参加機関: 北大、山形大、東工大、東大、名大、京大、神戸大、九大、鹿児島大
 協力機関: 防災科研、産総研、国土地理院、気象研究所、信州大、秋田大、広島大、茨城大、首都大学東京、早大
 協力団体: 7道県、日本火山学会、イタリア大学間火山コンソーシアム

- ✓ 火山研究者育成プログラム受講生

2016～2017年度受入: 40名
 (M1: 18名, M2: 11名, D1: 7名, D2: 4名)
 2017年度: 38名の基礎コース(うち4名応用コース)修了を認定
 2018年度新規受入: 22名(全員 M1)